

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 総合シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業(事業期間:平成28年度～平成30年度)
事業の目標	「奥河内」イメージを活用し、「自然や緑を活かした林業の基盤整備と活性化」、「地形を活かした観光基盤の整備と振興」、「地元ブランド製品の魅力発信と販路拡大」など本市の地域資源に磨きをかけながら新たな魅力の創出と活性により個々の地域資源が持つ価値を高めるとともに、磨きをかけた地域資源を更に有機的に結び付け、本市の魅力や評価を高めることで、内外から良好な評価を得、選ばれる都市としての優位性を確立し、本市への新しい人の流れを作り、まちの賑わいの創出や交流人口の拡大を図ることを目的とする。そして、奥河内のまちの観光魅力の向上と観光消費の活性化による観光産業を推進し、観光によるまちづくりの実現をめざすものである。
全体の概要	河内長野市が進める「奥河内構想」のもと、自然や歴史・文化などの地域資源を活用したグリーンツーリズムやスポーツツーリズムなどの体験型の新たな観光産業等の創出を図り、奥河内観光による地域づくりを推進する。

【数値目標及び実績】

項目		事業開始前	平成28年度 (増加分)	平成29年度 (増加分)	平成30年度 (増加分)	累計
年間観光入 込客数【人】	目標	986,800	10,000	15,000	15,000	40,000
	実績		3,061	8,000		11,061
年間観光案 内所利用者 数【人】	目標	6,845	155	300		455
	実績		-233	655		422
平成29年度の指標の状況及び事業への反映の考え方		年間観光入込客数は目標に達していない。観光ニーズに対応した情報提供ができておらず、また、本市で1日過ごしていただくための観光パッケージの提案がないなど、観光ニーズに対する対応が不十分であることが要因であると考えられる。今後は、観光客へ響く観光魅力発信の強化を図るとともに、各種観光施設、観光事業者との連携を図りながら、本市の資源を生かした体験型、滞在型観光の充実を図るなど、観光ニーズに対応した観光コンテンツの整備に取り組んでいく。				

※平成29年度実績は見込み

【事業の構成】

総合戦略の位置付け	要素事業	H29年度の具体的な取り組み	担当課	
基本目標2 新しいひとの流れをつくる 【施策3. 観光交流の振興】 「奥河内くろまるの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。	観光体制整備	①観光振興計画策定事業	計画の策定・各種調査事業	産業観光課
		②「奥河内くろまるの郷」観光プログラム開発事業	グリーンツーリズムの構築事業(農業体験プログラムの本格実施、企業等との連携による農業体験プログラムの検討及び準備)	農林課
		③奥河内魅力創出事業	奥河内サイクルツーリズム事業(レンタサイクルの実施ガイド付サイクリングツアーの実施準備) 奥河内ロゲイニング事業 観光拠点整備(滝畑ダム周辺の自転車関連整備)	農林課 農林課 産業観光課
基本目標1 安定した雇用を創出する 【施策1. 地域産業の育成・支援】 河内長野市産業アクションプランに基づき、企業の経営基盤の強化や販路拡大などの支援を行い商工業の振興を図ります。 【施策2. 農林業の振興】 農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。	資源の磨き上げ	④森林への関心向上プログラム推進事業	木のある暮らし推進事業 林業基盤整備事業	農林課 農林課
		⑤地域ブランド推進事業	河内長野産品充実支援事業(産地化・6次産業化支援)	農林課
			産品ブランド拡大推進事業	産業観光課
			産品ブランドの「おみやげ品」開発	産業観光課
	経営基盤整備	⑥経営基盤整備に係る事業者支援等	販路開拓支援事業(市内事業者同士のつながりの醸成)	産業観光課
商店街活性化事業(南花台商店街組織化) 女性の活躍サポート支援(女性の就労体験支援)			産業観光課 産業観光課	
基本目標2 新しいひとの流れをつくる 【施策1. 都市ブランドの推進】 都市ブランドの推進を通じて、市民の本市への愛着や誇りを育むとともに、市内外に向けて本市の魅力を効果的に発信します。	魅力発信	⑦本市の魅力発信事業	包括的な「都市魅力の創造と効果的な発信」事業	広報広聴課

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業①	観光振興計画策定事業	担当課 環境経済部産業観光課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	【観光振興計画策定事業】 ・本市の有する多様な地域資源を生かしながら、観光振興を図り、関連する産業の振興および地域経済の活性化をめざし、活力とにぎわいのまちづくりを推進するため、各種観光施策の指針となる「河内長野市観光振興計画」を策定する。	[参考指標] 観光事業に関する市民満足度 H29年:6.5% (H28年:5.5%)	1,490
	(合計)		1,490

※平成29年度の事業費は見込み

	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
担当者評価	②	前計画の総括による課題やアンケート調査等により、本市の観光を取り巻く課題が浮き彫りになった。さらに、「資源」「マーケティング」「マネジメント」の観点による課題の整理と施策の構築を図ることで、観光振興を推進する計画となった。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	本計画の着実な推進を図るため、各施策の状況把握や評価などを定期的 to 実施するなど、継続的なPDCAサイクルにより計画の見直しと改善を図っていく必要がある。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業②	「奥河内くろまろの郷」観光プログラム開発事業	担当課 環境経済部農林課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	【グリーンツーリズムの構築事業及び観光プログラム開発事業】 ・収穫体験及び農業体験の実施 ・体験プログラムの実施 ・体験プログラム冊子の改訂 ・収穫体験広告掲載	各種体験を目的に「道の駅奥河内くろまろの郷」に来訪する人が増加した。また、収穫体験だけでなく、田植えや稲刈りなどの農業を体験することが可能となった。 [参考指標] 収穫体験・農業体験実施団体数 : 2団体 (H28年: 1団体) 体験プログラム参加者数 (5施設10体験の合計) : 2595人 (H28年: 未実施) 施設来訪者数: H29.12月末時点 356,048人 (H28年: 367,498人)	1,191
		(合計)	1,191

※平成29年度の事業費は見込み

実績

	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
担当者評価	②	・収穫体験や農業体験を継続的に実施できる体制が整った。 ・体験プログラムをきっかけに、くろまろの郷エリアを訪れる人が増加した。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	・収穫体験や農業体験が継続して実施できるよう、実施団体と連携しながら進めていく必要がある。 ・体験プログラムは、まだまだ受け入れる余裕があるので、今後も積極的にPRを行っていく。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

※本要素事業は、社会資本整備総合交付金事業「高向地区都市再生整備計画」により整備された施設の活用事業であり、整備計画の評価を兼ねています。

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業③	奥河内魅力創出事業	担当課 環境経済部農林課・産業観光課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	【奥河内サイクルツーリズム事業】 ・奥河内サイクリングマップの改訂・増刷(3万部) ・観光サイクリングマップの印刷(1万部) ・レンタサイクルの増設(子ども用・電動アシスト計6台) ・女性向けサイクリングの開催 ・サイクルイベントへの出店	メディア等に取り上げられたことにより、サイクリストが増加したと考えられる。また、引き続きレンタサイクルを整備したことによる来場者の増加。 [参考指標] レンタサイクル利用数 :226人(H28年:未実施) 女性向けサイクリング参加者数 :3回12人(H28年:1回3人)	1,780
	【奥河内ロゲイニング事業】 ・第3回大会の開催(台風21号の被害及び22号の接近により中止)	[参考指標] 申し込み数:329人 (H28年:338人)	274
	【観光拠点整備(滝畑ダム周辺の自転車関連整備)】 ・滞留人口の増加と滝畑地域の活性化・地域振興を図るために、滝畑ダム周辺への来訪者及びサイクリストの円滑な散策、周遊が可能となるよう、車両止めの設置などの整備を行なった。	[参考指標] 観光事業に関する市民満足度 H29年:6.5% (H28年:5.5%)	2,654
	(合計)		

※平成29年度の事業費は見込み

	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
担当者評価	③	<p>「奥河内サイクリングマップ」を使ったPRを地道に行い、各種メディアに取り上げられたことによるPR効果やサイクリストによる口コミなどにより、サイクリストの来訪は増加していると考えている。</p> <p>・奥河内ロゲイニング大会は、台風の為、中止となったが、300人を超す申し込みがあることから、奥河内の魅力を満喫できるイベントとして定着してきた。</p>

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、③「効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	「自転車によるまちづくり」が各地域で進められており、今まで以上に積極的なPR活動を実施しないと、来訪者は減少すると考えられる。自転車の取組みに協力してくれる市民サイクリストとの連携を続けながら、積極的に取組みを進めていきたい。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	<p>取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために</p> <p>①妥当である</p> <p>②概ね妥当である</p> <p>③検討を要する</p>	

# 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業④	森林への関心向上プログラム推進事業	担当課 環境経済部農林課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	<b>【木のある暮らし推進事業】</b> ・木のある暮らしコンテスト受賞作品の商品化 ・おおさか河内材販売促進に係る広告作成 ・森林所有者向け勉強会	平成28年度に開催した「木のある暮らしコンテスト」受賞作品の商品化と、おおさか河内材のパンフレットを作成したことで地元材である「おおさか河内材」のPRが行えるようになった。また、森林所有者向け勉強会を通じて所有者の森林への関心向上が図れた。 [参考指標] 平成28年度受賞作品2作品を商品化 おおさか河内材パンフレット1,000部作成 基礎勉強会参加者 26人	1,891
	<b>【林業基盤整備事業】</b> ・林道の舗装 市を代表する観光資源である岩湧山や滝畑四十八滝へのアクセス道路であり、観光資源や観光基盤の維持管理のためにも重要となる林道の舗装を進める。	※災害の影響により工期が延期となり、平成29年度の工事は、平成30年4月に完了する見込み。	4,122
		(合計)	6,013

※平成29年度の事業費は見込み

担当者評価	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
	②	・木のある暮らし推進事業については、本年度に結成されたおおさか河内材販売促進協議会と連携して事業を行い、林業の担い手となる当事者の意見も取り入れることができたので、今後も持続した地域資源の活用に期待ができる。 ・林道の舗装については、計画どおりに事業が完了することによって、森林や文化財、観光資源の維持管理が適正に実施されることになり、観光資源等の魅力が向上し、更なる来訪者の増加が見込める。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	・本年度作成した商品や広告を活用し、木のある暮らしの魅力を伝えるとともに地元材である「おおさか河内材」の利用促進を図る。また、第2回木のある暮らしコンテストを開催する。 ・森林所有者だけでなく、一般の方の森林に対する関心を向上できる事業を検討する。 ・林道の舗装を行い、観光資源へのアクセスを向上させると共に、継続して森林や文化財、観光資源を適切に維持管理することにより、これらの魅力をさらに向上させ、来訪者の増加を図る。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

# 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

<b>事業名称</b>	<b>奥河内観光地域づくり推進事業</b>	
<b>要素事業⑤</b>	<b>地域ブランド推進事業</b>	<b>担当課</b> 環境経済部産業観光課・農林課

	実施内容	成果	事業費(千円)
<b>平成29年度実施事業</b>	<b>【河内長野産品充実支援事業（産地化・6次産業化支援）】</b> ・イチジク苗の育苗委託 ・6次産業化に伴う補助の実施	イチジクの産地化にむけた栽培農家数が増加した。また、6次産業化を進める農家を支援することで、6次産業に取り組む農家が増加した。 [参考指標] イチジク栽培農家数 :10件(H28年:8件) 6次産業化補助団体数 :2団体(H28年:2団体)	579
	<b>【産品ブランド拡大推進事業】</b> ・新たな手法でのブランドPR(大阪舞洲ゆり園での河内長野物産コーナー設置、奥河内booonでのブース出展、大学生等との連携) ・SNSやWEB等での情報発信 ・上記に伴うHP、リーフレットの更新 ・従来農業応援としての要素が強い本事業を、商業者との連携が強まっている現状に即した事業にするため、内容を検討中	[参考指標] リーフレット配布数:2000枚 (H28年:1000枚)	620
	<b>【産品ブランドの「おみやげ品」開発】</b> ・将来的な商品開発に向けた基盤づくりとして、「奥河内フルーツラリー」を開催し、農商連携の促進や地産地消の機運醸成を実施した。	[参考指標] イベント応募総数:253 (H28年:122) 参画事業者数:36店舗 (H28年:26店舗)	1,000
	<b>【販路開拓等支援事業】</b> ・市内事業者へのヒアリングによる、販路開拓や事業領域拡大における課題等の収集 ・上記課題に対する個別支援(新商品開発支援、地場産業関連事業者の連携促進など) ・経営改善のためのコンテンツ配信 など ・展示会等への出展	[参考指標] 展示会出展:17日間 (H28年:17日間)	
	(合計)		

※平成29年度の事業費は見込み

	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
<b>担当者評価</b>	<b>②</b>	・イチジクの産地化にむけ、栽培に取り組む農家を増やす事ができた。 ・市商店連合会との連携により、市産品PRの取り組みに参画する事業者数が大きく増加した。また、市産品に対する認知やイメージ向上に繋がっており、地産品を本市の特徴ある資源として活用していく機運も生まれつつある。

評価:交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

<b>改善</b>	<b>【今後の課題・取組みなど】</b> ・産地化に向け、栽培農家の数を増加させるべく今後も積極的に取り組みを進めていく。 ・地産地消や農商連携の定着に向けて、市事業としての継続前提ではなく、事業者や市商連の自主的な取り組みに繋げていく必要がある。
-----------	--

<b>委員会評価</b>	<b>【委員会評価】</b> 下記から選択して下さい。	<b>【評価等に対する意見】</b>
	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業⑥	経営基盤整備に係る事業者支援等	担当課 環境経済部産業観光課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	【商店街活性化事業(南花台商店街組織化)】 ・情報発信やイベントなど、個店では実施しにくい商業活性の取り組みを効果的に実施できるような事業者間の連携を促進する(市商連委託事業)	[参考指標] 組織化:1件(咲つく南花台事業者の会) 会員事業者数:51事業者	1,000
	【女性の活躍サポート支援(女性の就労体験支援)】 結婚や子育て等様々な理由で離職した女性や、よりよい就労環境でもっと活躍したいと考える女性を対象に、再就職やスキルアップに繋げる女性就労支援事業を実施した。  女性就労支援事業(前期・後期の2回実施) ・女性の働き方応援セミナー(前・後期各1日) ・女性再就職新講座(前・後期各5日間) (就職に必要な知識やビジネスマナー3日間・パソコンスキル2日間・希望者のみ就労体験2日間) ・キャリア相談(全16回)	[参考指標] ・応援セミナー参加者:27名 (H28年:28名) ・再就職支援講座参加者:14名 (H28年:12名) ・就労体験:5名 (H28年:4名)	2,000
	(合計)		3,000

※平成29年度の事業費は見込み

	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
担当者評価	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市来訪者の消費喚起の担い手である市内事業者の活性化に向けて、事業者の連携強化、および雇用確保が課題となっている。</li> <li>・これらの課題に対し、商店街活性化事業では、従来の駅前立地型のように、通り沿い等に集積した商店街とは異なり、地域内に分散した事業者が連携する、新しいスタイルの連携組織が構築され、他エリアの事業者連携に向けたモデルとしての活用が期待できる。</li> <li>・また、女性の活躍サポート支援では、女性の就労意欲向上に努めており、継続により今後の雇用確保の一助となることが期待される。</li> </ul>

評価:交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の連携については、支援終了後も、各種取り組みを自力で継続させることができるよう、引き続き市商連等とも連携し状況を把握することが必要。</li> <li>・今後、他エリアへ波及した場合、市の予算措置が無い中でも効果的に支援が行えるよう、市商連と連携した支援ノウハウの磨き上げが課題。</li> <li>・女性の活躍サポート支援は、平成29年度は、同内容で前期・後期と2回に増やし開催したが、受講者が分散してしまう結果となった。今後は、開催回数を増やすのではなく、講座内容の充実を図っていく。</li> <li>・キャリア相談については、受講生や相談を必要とする女性が十分に活用できるよう検討し、早期就労に取り組んでいく。</li> </ul>

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために  ①妥当である  ②概ね妥当である  ③検討を要する	

# 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業⑦	本市の魅力発信事業	担当課 総合政策部広報広聴課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	【包括的な「都市魅力の創造と効果的な発信」事業】 ・市民のまちへの愛着や誇りを育むとともに、市内外に向けて本市の魅力の効果的に発信した。 ・SNSやプレスリリース、リーフレット等の様々な媒体を通じて、市内外に戦略的かつ継続的に本市の魅力発信した。 ・昨年8月には「河内長野市広報戦略プラン」を策定し、市として包括的な発信に取り組む方向性を定めることができた。	[参考指標] ※H29年度見込み ・報道提供件数 90件 ・市HPアクセス 605,000件 ・市フェイスブック 300投稿、385,000リーチ ・職員研修の参加職員 100人	608
		(合計)	608

※平成29年度の事業費は見込み

	【29年度評価】	【29年度の評価内容】
担当者評価	③	この事業により、市民には本市への愛着や誇りを、市外居住者には本市への関心と憧れを醸成することができた。今後は、「買い物や遊びに訪れたい」「暮らしたい」「学びたい」「働きたい」等で本市が他市よりも積極的に選ばれるまちになるため、具体的な数字として、まずは交流人口の増加(いずれは移住者の増加)に結び付けるような事業展開を要する。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、③「効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	今後は、広報戦略プランの着実な推進を図るため、庁内の広報マネジメントの強化や職員一人一人の発信力の向上、多様な情報媒体の活用、ターゲットの絞り込みと表現方法の差別化、本市へのファンの育成と協働などを推進していく必要がある。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

当初予算 支出済み 追加予定 決算見込み

アルバイト賃金	アルバイト賃金	291,000	290,705	0	290,705
講師謝礼	講師謝礼	40,000	0	0	0
謝礼	謝礼	30,000	0	0	0
費用弁償	費用弁償	5,000	8,600	0	8,600
消耗品費	消耗品費	0	30,486	60,000	90,486
印刷製本費	印刷製本費	200,000	0	108,000	108,000
広告料	広告料	284,000	0	108,000	108,000
通行料	ETC及び駐車料金	0	1,460	0	1,460
		850,000			607,251
	交付金	425,000			

市ホームページ(indexトップページ)月別ページビュー

月	平成29年度
4	49,412
5	48,201
6	45,472
7	53,126
8	49,204
9	46,840
10	64,767
11	46,662
12	49,813
1	
2	
3	
	453,497

市役所フェイスブックページ年間リーチ数(平成30年1月26日現在)

投稿数	248
リーチ	320,775

広報戦略プランの推進に係る職員研修

日時 平成29年9月25日(月)10時～正午

会場 市役所8階 802会議室

- 1 開会挨拶 市長
- 2 河内長野市広報戦略プランについて 広報広聴課
- 3 報道発表資料の書き方などについて  
産経新聞大阪本社 社会部記者 藤崎 真生 氏

## 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 総合シート

<b>事業名称</b>	「丘の生活拠点」(南花台)自立化推進モデル事業(事業期間:平成29年度～平成31年度)
<b>事業の目標</b>	<p>開発団地が連なる河内長野市南部において、それらの玄関口に位置し、「丘の生活拠点」と位置付ける南花台地域において、社会情勢の変化や地域課題の変化に対応できる持続可能なまちにするため、多様な社会実験的取組を通じ、地域住民・事業者連携によるまちづくり活動を継続できる仕組みと自立運営体制の構築を図る。</p> <p>具体的には、「地域の総力を結集する(地域住民だけでなく、地域の事業者や医療施設・教育機関等と密に連携できる仕組みを構築)」、「地域で考える力をつける(地域が主体となったまちづくり展開を可能にする仕組みを構築)」、「地域で稼ぐ力をつける(まちづくりに必要な経費を生み出す仕組みを構築)」、「地域の新たな資源を創出する(空地や緑地など地域のストックを新たな資源として活用する仕組みを構築)」の4つをまちづくりの仕組みとして構築することにより、「まちづくりの活動を継続してやりつづけられるまち」を目指す。</p> <p>さらに、本事業を通じて生み出された様々な社会実験的取組を他地域においても活用可能な事業モデルとして磨き上げ、他地域のまちづくりに応用し、横展開を図ることで、市内開発団地全体の活性化を目指す。</p>
<b>全体の概要</b>	<p>地域活動拠点「コノミヤテラス」を中心とした社会実験的活動の企画・実施及び活動の自立運営体制構築を図るほか、地域主体の包括的な生活支援のための多様な取組の磨き上げ、他地域を対象にした視察の受入れや報告会等を通じた意見交換の実施、UR集約型団地再生事業に係る新機能の誘致に向けた研究・検討等を行う。</p>

### 【数値目標及び実績】

項目		事業開始前	平成29年度 (増加分)	平成30年度 (増加分)	平成31年度 (増加分)	累計
地域活動を担う人材の発掘人数【人】	目標	30	20	20	20	60
	実績	/	31			31
地域まちづくりコーディネーターの発掘人数【人】	目標	1	2	2	2	6
	実績	/	3			3
ソーシャルビジネス(生活支援活動を含む)の創出(分野)件数【件】	目標	4	3	2	2	7
	実績	/	2			2
<b>平成29年度の指標の状況及び事業への反映の考え方</b>		指標は概ね達成しており、持続可能な体制づくり・仕組みづくりに引き続き取り組むとともに、モデル事業の他地域への積極的な展開を図る。				

※平成29年度実績は見込み

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	「丘の生活拠点」(南花台)自立化推進モデル事業	
要素事業①	「丘の生活拠点」(南花台)自立化推進モデル事業	担当課 総合政策部政策企画課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成29年度実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業総合企画調整</li> <li>・「総合研究会」など各プロジェクト会議の運営</li> <li>・地域活動拠点「コノミヤテラス」の運営及び自立化の推進</li> <li>・「咲っく南花台健康クラブモニター制度」の実施</li> <li>・「買い物支援」の取組み実施</li> <li>・地域事業者による「プレミアムフライデー企画」の実施</li> <li>・錦秀会看護専門学校での連携イベント実施</li> <li>・「コノテラ通信」発行など地域による情報発信</li> </ul>	[参考指標] ●「コノミヤテラス」オープン日数:362日/年 ●「コノミヤテラス」運営による収益:292,500円(H29.4~H30.1累計) ●健康クラブモニター人数:63人 ●買い物支援(延べ)件数:42件 ●プレミアムフライデー実施回数:8回 ●コノテラ通信発行回数:12回	6,000
		(合計)	6,000

※平成29年度の事業費は見込み

担当者評価	【29年度評価】	2
	①非常に効果的であった	健康仲間づくりの取組みや生活支援活動の取組みなどを通じて、地域活動を担う人材や、まちづくりを中心的に担うコーディネーターが発掘できたことで、地域が主体となったまちづくりの仕組みが構築されつつある。 また、ソーシャルビジネス(生活支援活動を含む)創出についても、ほぼ目標どおり達成できた。

評価:交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・事業者等の連携を深め、まちづくり活動を継続できる仕組みと自立運営体制の構築を図る。</li> <li>・周辺他地域との連携を創出し、南花台における取組みの横展開を図ることで、市内開発団地全体の活性化を目指す。</li> <li>・南花台地区の中央に位置するUR団地における集約事業の実施を契機として、市・関西大学・UR都市機構との三者による連携・協力体制を強化し、「丘の生活拠点」の形成を推進する。</li> </ul>

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

# 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 総合シート

事業名称	小山田・下里地区都市再生整備事業(事業期間:平成26年度～平成28年度)
事業の目標	<p>河内長野市総合計画では、子どもから高齢者まで生涯にわたり、スポーツに取り組むことができ、健康づくりや生きがいづくりにつなげることができるよう、スポーツ活動の充実を図ることとしています。</p> <p>また、少子高齢化により、高齢者が増加している中で、健康・体力づくりに有効であるだけでなく、一生にわたってスポーツに親しむ、いわゆる生涯スポーツに対する意識も高まっており、多様なスポーツ施設を整備し、生涯スポーツを通じて人びとのつながりが生まれ、にぎわいを強化することが期待されます。</p> <p>さらに、高齢者や障がい者などが利用しやすい環境や、新たな競技・種目に対する需要が高まっているなど、市民の多様なニーズに対応し、更なるスポーツ活動の活性化を図るため、高質なスポーツ施設の機能を充実させるとともに、新たな拠点の整備が求められます。</p> <p>一方、本地区は、市中心部の北西部に位置し、道路アクセスが良好であることから、寺ヶ池公園野球場・庭球場・プールや、赤峰市民広場、下里総合運動場、天野少年球技場、荘園庭球場など多くのスポーツ施設が集中しているとともに、下里総合運動場の隣接地には市所有地(約2万㎡)が所在しています。</p> <p>そこで、スポーツに親しむ環境(場)づくりと賑わいを創出する交流の場づくりの2つ観点から、具体的には、スポーツ活動人口の増加とスポーツイベント等を通じた交流人口の増加を図ることを目標として、本地区に新たな拠点となるスポーツ施設を有する公園を整備することにより、地域コミュニティの形成による健康で活力あるまちづくりを行うものです。</p>
全体の概要	サッカーやラグビー、グラウンド・ゴルフなど人工芝利用のスポーツ種目の普及、振興や高齢者の健康の保持・増進、地域イベントなどにも寄与する場として『下里人工芝球技場』を整備する。また公園機能を付加し、市民の憩いの場として活用を図り、地域コミュニティの活性化にも寄与する。(参考:「小山田・下里地区整備方針概要図」)

## 【数値目標及び実績】

項目		事業開始前	平成28年度	(平成29年度)
当地区内施設の年間利用者数【人】	目標	280,000	330,000	-
	実績		335,286	330,000
区域内の各種スポーツ大会・イベント等の開催数【回】	目標	77	90	-
	実績		95	101
市民の「スポーツなど健康づくりの場や機会」に対する満足度【%】	目標	15.8	20.0	-
	実績		21.7	15.6
平成29年度の指標の状況及び事業への反映の考え方		年間利用者数及び区域内の各種スポーツ大会・イベント等の開催数は目標を達成しており、今後もさらに利用者数が伸び交流人口の増加を図るよう進めていきます。		

※平成29年度実績は見込み

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	小山田・下里地区都市再生整備事業		
要素事業①	下里人工芝球技場整備事業	担当課 生涯学習部文化・スポーツ振興課	

平成28年度実施事業	実施内容	成果	事業費(千円)
		【下里人工芝球技場利用状況】	H28年度 77,634 名 (H29年度) 75,000 名(見込)
	【小山田・下里地区スポーツ振興事業】 下里運動公園(人工芝球技場)整備事業において策定された「小山田・下里地区都市再生整備計画」に基づき、下里運動公園を主とした市民スポーツの振興を図るため実施 ・少年少女野球まつり ・下里運動公園オープニングセレモニー&イベント ・河内長野ラグビーフェスタ ・サッカー交流大会 ・河内長野を歩こう(五私鉄ウォーク) ・少年少女野球教室 ・第1回南河内グラウンド・ゴルフ大会	H28年度 参加者数 4,380 名  246 名 1,000 名 300 名 551 名 1,952 名 120 名 211 名	H28年度          1,700
		(合計)	1,700

担当者評価	【これまでの評価】	【評価内容】
	②	新たに人工芝球技場を整備したことで、施設数が増え、より多くの市民にスポーツの場と機会を提供することができ、またスポーツ振興事業によりスポーツ活動の活性化を図ることができた。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	スポーツ施設は、平日昼間の利用が少なく、この時間帯の活用を検討していくことが課題となっている。そのため、施設の指定管理者や本市のスポーツ振興に総合的に取り組む特定非営利活動法人河内長野市総合スポーツ振興会と連携し、グラウンドゴルフ大会や学生による利用を図り、平日昼間の利用促進に取り組んでいく。

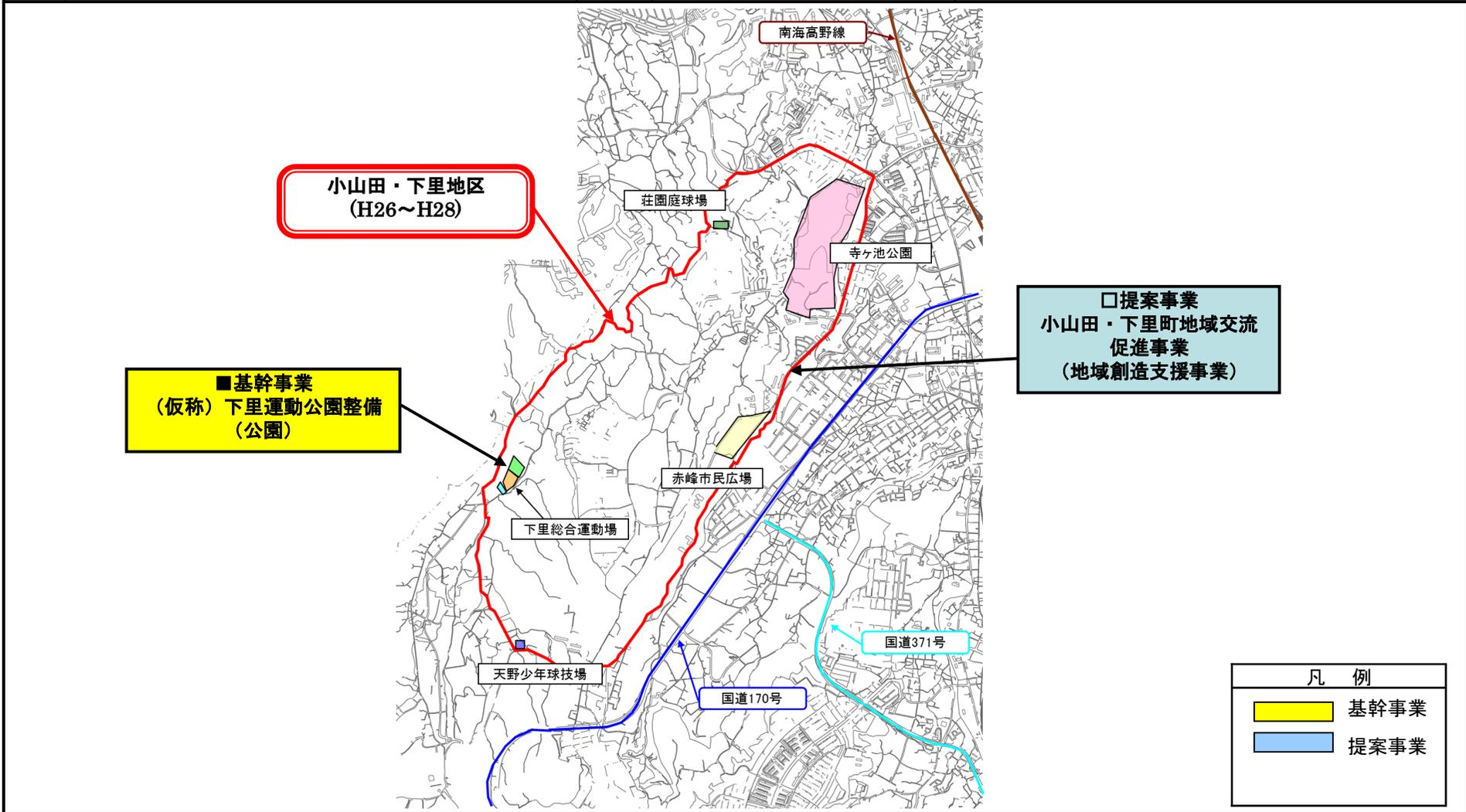
委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

平面図



小山田・下里地区(大阪府河内長野市) 整備方針概要図(変更後)

目標	大目標:地域コミュニティの形成による、健康で活力のあるまちづくり	代表的な指標	当地区施設の利用者数 (単位:人)	280,000 (H25年度)	→	330,000 (H28年度)
	目標1:スポーツに親しむ環境づくり		スポーツ大会・イベント等の開催数 (単位:回)	77 (H25年度)	→	90 (H28年度)
	目標2:賑わいを創出する交流の場づくり		「スポーツなど健康づくりの場や機会」に対する満足度 (単位:%)	15.8 (H24年度)	→	20 (H28年度)



下里運動公園



下里人工芝球技場



オープニングイベント



少年少女野球まつり



ラグビーフェスタ



5私鉄ウォーク



少年少女野球教室



南河内グラウンドゴルフ大会

